

北丹沢方面の自然公園情報

日付：令和6年2月2日（金）

コース：焼山登山口ー焼山

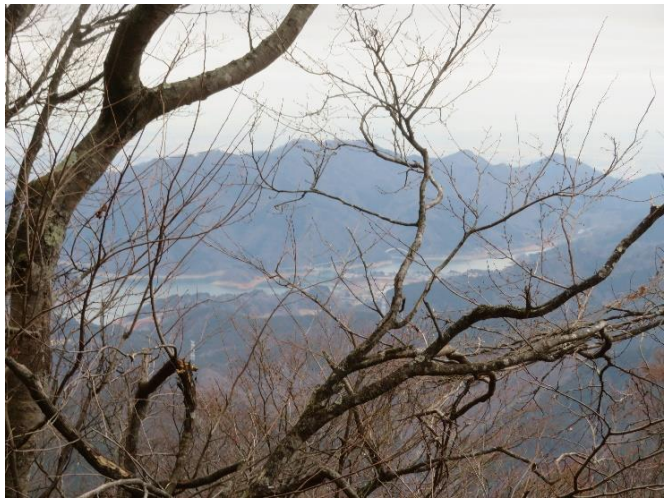
天気：曇り

気温：-2℃（焼山山頂、11時半頃）

- 冬の焼山周辺はヤマビルも出ず、落葉している木々の隙間から宮ヶ瀬湖も見えるため夏とは少し違った様子の登山道を歩くことができます。ただしこの日はとても寒く、風が強くなくても山頂でゆっくりお昼を食べるのは難しい状況でした。



登山口のヤマビル注意看板



宮ヶ瀬湖（焼山山頂近くからの展望）

- 冬の登山の際には、温度調節のできる防寒用品が必須です。このコースは、急勾配が長く続く登山道や斜面一面に霜柱ができて日陰の林内を通るなど、体感する温度の寒暖差が激しかったためダウンジャケットなどの防寒用品が活躍しました。



長い急登



登山道脇の斜面（霜柱）

- 荷物を出し入れする回数が多くなると落とし物をする可能性も増えます。特に登りでは、体が温まった際に脱いだ上着や手袋などを、寒くなったときにすぐに取り出せる場所に入れてしまいがちです。取り出しやすい場所は何かの拍子に落っこちやすいのかもしれませんが。この日は急こう配の坂周辺に落とし物が多く、もしかしたらこのような出し入れの際に落としてしまったのかなと思いました。



落とし物 1



落とし物 2



落とし物 3